



2018年度 えんだより 3

社会福祉法人 恵泉福祉会
光の子保育園
園長 長島 博樹

主 題 期待する

月のわがい

- ☆ イエスさまがともに歩んでくださったことに感謝し、これからも共にいてくださる事を信じ、安心と希望を持つ。
- ☆ 友だちや保育者に信頼を寄せ、満足して過ごす。
- ☆ お互いの成長を喜び、新しい生活に期待を持つ

おことば

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい

(テサロニケの信徒への手紙Ⅰ 5章 16～18節)

行 事 予 定

3 月

04日(月) お茶会
05日(火) 卒園お祝い会
11日(月)じゃがいも種植え
09日(土) 第39回 卒園式
12日(火) 卒組式
14日(木) 未満児遠足 (草ぶえの丘)
18日(月)・19日(火) 時間外申請受付 (在園児)
8:30~9:30 16:30~17:30

4 月

新年度の行事予定につきましては、後援会総会において説明・承認後に確定いたしますが、概ねの予定のみお知らせいたします。

04日(木) 入園式・後援会総会
05日(金) ランチデー・チューリップ祭り
08日(月)・09日(火) 時間外申請受付 (新入園児) 8:30~9:30 16:30~17:30
13日(土) イースター・親子遠足
18日(木) 千葉県科学館 (5歳児のみ)

あきらめない

ご卒園 おめでとうございます。

先日、Sちゃんが悔し泣きをしていました。ここ数年大縄連続跳びに、個々意欲を持って取り組み、年中の時、大台の1000回を超え1227回を飛んだSちゃんは、さらに年長では2465回まで飛び続けるという精神力の強さに感服し、子どもの頑張りに何か形に残せないかと考え、1000回を超えた時には記念グラス、2000回を超えた時には記念プレートと、先生方の手彫りの記念品を用意しました。Sちゃんに触発されて、Rちゃんが2737回飛び、翌週には3008回とびっくりする大記録の更新があり、記録を抜かれた悔し泣きでしたが、そこに向かおうとするまでには、子ども達なりの努力と工夫がありました。この、縄を回す先生選びです。ここに担任への絶大な信頼が窺えます。

ある日のSちゃんとRちゃんの会話には・・・

Sちゃん「私、A先生(担任)じゃないと記録が伸びないんだよね」

Rちゃん「わかるわかる！私はM先生！」

記録への向かい方もそれぞれ違い、夕方当番が担任の日を狙って挑む子、とりあえず体慣らしに毎日飛んでおく子と、自分の課題への向かい方、課題を乗り越えるためのポイントをしっかりと分析しているのです。このチャレンジは、最後まで見守りつつ応援しているところです。

このようにライバルは、お互いの存在を成長の刺激に変えてゆくことが出来る関係であり、同じ目標を持つもの同士でなければ理解できない、わかり合えない感情を共有できる存在であることが良く分かります。もちろん、いつかは抜かれたり、越えたりする悔しさはついて回りますが、そのライバルがいるからこそ、向上する意欲や研鑽を積む価値を見出せるのでしょう。

先日、桐生祥秀さんと山懸良太さんの対談を上田晋也さん(クリームチュー)がインタビューしていました。桐生選手が、9秒98の日本記録を出したとき、山懸選手は自宅でのんびりしていたところに速報が入ったと話していました。「出された」というショックと同時に桐生選手に「おめでとう」のメールを送ったそうです。桐生選手は、そのメールに感動したと伝えていました。自分が送る側の立場だったら後輩におめでとうなんていえないだろうと。

山懸選手は別のインタビューで、

山懸：正直、悔しかったです。自宅で見えていたのですが、先に(9秒台)出されてしまったという部分では、かなり喪失感は大きかったと。ただ、そこで自分の競技人生が終わるわけではないですし、気持ちを切り替えていく必要があるなと同時に思いました。2、3日は落ち込みましたが、その後はしっかりと練習に励みました。

いっどこで誰が出してもおかしくない状況でした。そういう意味では、常に「誰かが出すかもしれない」という機が熟している感じもありましたし、彼が記録を出そうが出すまいが、「今は自分がやるべきことを突き詰めていく」という気持ちで練習をしていました。

自分がスランプ、壁に当たった時の脱出方法として、自分の殻に閉じこもっているうちはその考えや技術から抜け出せないの、そういう時は他の選手の映像を見たり、他の人が書いた本を読んだりして、自分を変えるきっかけを探しまし

た。それが1つ功を奏したのかなと思います。

記者：その技術的な部分を自分に落とし込む際は、コーチなどと話しながら消化していく感じですか？

山懸：自分で咀嚼して、考えていく感じですね。自分の頭の整理の為に、コーチに伝えることでアウトプットしたりはするのですが、「こういう動きをしたら、こういう動作になる」という部分は、捉える人によって自分が言った本当のニュアンスと同じ認識とはならないと思っているので、自分でセルフコーチングできないといけない部分だと強く思っています。 (スポーツナビ 2018年4月13日より)

セルフコーチング、セルフコントロールはこのような悔しい思いや挑戦、チャレンジ、成功といった様々な経験の中で育まれていくものでしょう。これこそ、非認知能力です。

もう一つ、上田さんの桐生選手と山懸選手へ質問で印象に残ったものは、「どうやったら自分の子どもが早く走れるようになる？」に、どちらの選手も「外でよく遊ぶ事」と答えていました。この言葉から技術や目に見える記録向上(認知できる能力)を目指す前に、遊びの中で育まれる友人との関係、セルフコントロール力、コーチング力、工夫、努力という非認知能力を育むことの重要性を伝えているように感じます。

2月25日アカデミー賞の受賞発表があり、レディガガがオスカーを受賞しました。

大歌手であるレディガガに演技してもらいたい監督・製作・主演者ブラットリー・クーパーは、癌のチャリティに母と共に参加した時、ガガが歌っているパフォーマンスに魅了され、翌日エージェントに連絡し、マリブまで運転しガガの家に直談判をしに行ったエピソードが伝えられています。インタビューではぜひ彼女に引き受けてもらうために自分の苦手な歌をレッスンして彼女に披露したそうです。ギター、ピアノ、歌の猛特訓にたえながら、一人四役を完璧にこなさなければならないため、周囲は映画製作を猛反対したとのこと。それに加えて、世界的アーティスト、レディガガの初主演作を託されるという重責もかなりのプレッシャーだったようですが、「今思うと彼女の前で歌うなんてクレイジーだった」と明かしています。その姿に感動したガガは主演を引き受けたそうです。この映画を撮り終えた彼はインタビューに「彼女の素晴らしさは、あれだけの歌手でありながら、**学ぶ姿勢**が常にあり、努力を惜しまなかった」と話しました。

一方、もともと女優志望だったガガは、ニューヨーク大学で演劇を学ぶほど演じることが大好きだったようですが、緊張感が強くオーディションが苦手で、自分を出せずに終わっていたと明かしています。その後、ミュージシャンへと転向し、ほどなく大手レコード会社との契約を勝ち取り今に至っていますが、高校時代は、「自分に自信が持てなく夢も大きかったから、いじめられたことがある」と語っています。その経験を思い出して、今回のアリーを演じたそうです。

オスカーを受賞した後のインタビューで「自分にとって大変な仕事も、努力した支えは真の友人」と話していました。さらに「**受賞することに意味があるのではなく、あきらめない事に意味がある**」と・・・

あの世界的に有名な歌姫が「緊張感が強く自分に自信がない」とは信じられませんが、プラス・マイナスな経験を経て、セルフコーチング、セルフコントロールする力が育まれていること、また、常に学ぶ真摯な姿勢と諦めない力が一流になる原動力であったことが窺えるエピソードです。

この話を聞き、卒園生の保護者の方々を思い出します。年長児モンテッソーリ言葉のお仕事の集大成として親子短歌を毎年作りますが、ある保護者のお父様は、その短歌を子どもだけの活動に終わらせず、共に取り組み、光の子生活への数句の短歌を作って下さいました一部をご紹介します。

○ 年二回 悔いる日頃の 不摂生 保護者リレーと ファイヤーマン

○ 縄跳びを たくさん飛ぶのも 凄いけど 数える方も 根性エグい

○ プログラム 誕生会の プレゼント 全て手作り 人をも創る



社会人として、キャリアのある一流のお父様にも拘わらず、子どもの育ちに謙虚に向かい合い、真摯に学ぶ姿勢を持ち続け、忙しい中にも協力を惜しまずに携わって頂いたお父様と、ガガの姿が重なります。一流とはこのような姿なのかもしれません。光の子の保護者の方の中にはこの他にも、子ども達の七井戸公園遠足の途中で待ち、毎年のように、クリスマス聖歌隊の指揮、練習指導をしてくださったお母様、共に聖歌隊で讃美して下さったお母様方、ゼリーやスイカの差し入れをしてくださったお母様方、長年お祭りのお化け係を引っ張って下さり、先生方が「このお父様がいれば大丈夫」と信頼を寄せていたお父様、ファイヤーマンを何度も引き受けて下さったお父様、機会がある度に連絡ノートで先生方を励まし、子どもの成長の喜びを伝えて下さったお父様、お母様、長年、後援会の役員を引き受けて下さったお母様、行事毎に忙しい中お手伝いして下さったお母様方、がいてくださいました。

今年も10年近く支えて下さった、たくさんの保護者が子ども達と共に、この光の子を卒園します……。

本当にありがとうございました。